

第 2 回安曇野市消防委員会 会議概要

- 1 審議会名 安曇野市消防委員会
- 2 日 時 平成 25 年 10 月 23 日 午後 6 時 30 分から午後 7 時 45 分まで
- 3 会 場 堀金総合支所 2 階 202 会議室
- 4 出席者 中野博夫委員長、小林光男委員、二木弘委員、宮澤一雄委員、高橋博明委員、
金盛順一委員、丸山重隆委員、丸山一雄委員、鈴木清富委員、寺畑佳司委員
- 5 市側出席者 白澤危機管理室長、二木係長、白井主査、川口主査
- 6 公開・非公開の別 公 開
- 7 傍聴人 0 人 記者 0 人
- 8 会議概要作成年月日 平成 25 年 10 月 24 日

協 議 事 項 等

- 1 会議の概要
- 1 開会
 - 2 委員長あいさつ
 - 3 会議事項
 - (1) 第三次中間答申に対する対応について
 - (2) 第四次答申について
 - (3) その他
 - ・消防車両配置式（第 6 分団第 4 部・第 9 分団第 3 部・第 11 分団第 3 部）について
 - ・年末警戒について
 - 4 閉会
- 2 審議概要
- (1) 第三次中間答申に対する対応について

二木係長 : 今年 5 月に第三次中間答申を市長に提出した内容について、消防団のそれぞれの分団に持ち帰って討議して回答をいただいたものを取りまとめて、本日の会議資料として用意をした。(配布した会議資料をもとに「分団・部からの意見」「音楽喇叭隊からの意見」「今後の団等の対応」について説明)

丸山一雄委員 : 音楽喇叭隊の音楽部は勤続年数が長い方が多く、勤続年数が 20 年や 30 年となると、大変な額の退職金になる。退職金が払いきれなくなる可能性が当然出てくる。

二木係長 : おっしゃるとおり退職金が膨大な金額になる。そこで、機能別消防団員制度を導入する際、音楽部員には一度退団していただき退職金をお支払いし、清算をしてから、機能別消防団員として再入団をしていただくというのもひとつの案である。今後、協議をして決めていきたいと考えている。
 - (2) 第四次答申について

第四次答申の諮問事項「消防団補助金のあり方に関する事」について、現状及び答申案を、配布した会議資料をもとに二木係長より説明を行った。

中野委員長 : 特に異議がなければ、この会議資料で示された答申の案の内容で進める。

続いて、もうひとつの諮問事項「火災出場範囲の見直し」について、現状及び答申案を、配布した会議資料をもとに二木係長より説明を行った。

宮澤一雄委員 : 実際に二次出場の事例があるなら、図面に描いて勉強しながら進めたらどうか。

- 中野委員長 : 図面上でいいから「もしここで火災が発生した場合には、この分団とこの分団は二次出場の対象になる」という取り決めをしておけば混乱しないで済むのではないかと思う。
- 二木係長 : 二次出場について日ごろから図上訓練を実施し、二次出場の配信については、今後、危機管理室のほうでメール配信するというかたちをとりたい。そのことも含めて、答申のなかに入りたい。
- 中野委員長 : そのメールのなかに、分団を謳うわけにはいかないか。
- 二木係長 : 今すぐ、「どこの分団出場」というメール配信の体制をとるわけにはいかないが、今後、メール配信を希望する団員全員に出場の情報を流すことを市で計画しているので、そのことも、答申のなかに入りたい。
- 中野委員長 : それでは、図面上の訓練を行うということ等も含めて、答申するという事によろしいか。
- 委員一同 : 異議なし。

(3) その他

①今後の日程について

事務局より、11月27日の消防車両配置式及び12月25日の年末警戒激励について連絡。

②次期団長の選考について

寺畑佳司委員 : 正副団長の任期が来年3月までとなっている。次期団長を選出するにあたり、団長選考委員会を組織して、現在協議を進めているところである。

③団員確保のための取り組みについて

- 丸山一雄委員 : これは松本市の取り組みだが、団員証を消防団員各自へ配布し、団員証を提示した場合、契約のお店で割引となる、とのこと。安曇野市でもやれることをやっていければと思うが。
- 白澤室長 : 県内の他の市町村の取り組みについて調べた。団員の確保は、市長の公約にもなっているもので、安曇野市としても何らかの取り組みをしたいと考えている。

今回は、12月6日（金）午後4時からの開催とする。

以上